

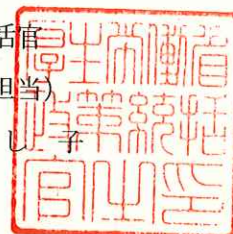


政統発 0124 第2号  
平成29年1月24日

公益社団法人  
日本リハビリテーション医学会 殿

厚生労働省政策統括官  
(統計・情報政策担当)

安藤 よし子



### 第6回厚生労働省 ICF シンポジウム

「生活機能分類の活用に向けて」の協力について (依頼)

時下、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

厚生労働統計の推進につきましては、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ICF (国際生活機能分類) は、2001年5月にWHO総会で採択されて以来、普及を促進するための研究開発が行われてきており、現在では2006年にWHO-FIC (WHO国際統計分類) ネットワークの中に設置された専門家会議であるFDRG (生活機能分類グループ) において、その改善や普及啓発、具体的な活用事例などの活発な議論が続けられています。

また、ICFは我が国においても「疾病」と「生活機能」両面からの評価を可能とする共通言語として注目を集めて、利用が進み始めているところです。

こうした動向をふまえ、本シンポジウムはこれまで普及の観点から5回開催されましたが、更なるICF (国際生活機能分類) の実用化にむけて、各分野でのICFの具体的な活用事例に焦点をあて、第6回ICFシンポジウムを開催することとしました。

つきましては、本趣旨にご理解を頂き、昨年に引き続き本シンポジウム開催に向けて、貴会内や関係者の皆様に対する本シンポジウム開催の周知等のご協力を賜りたく存じます。

何卒ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。



## 第6回厚生労働省 ICF シンポジウム 概要

タイトル : 第6回厚生労働省 ICF シンポジウム 生活機能分類の活用に向けて～具体的活用事例～  
主催 : 厚生労働省  
開催日時 : 平成29年3月18日(土) 12:00(開場) 13:00(開会) 17:00(閉会)  
場所 : スクワール麹町  
対象者 : ICFの理念に関心を持ち、医療、介護、福祉、教育等の現場に従事する者

### 【プログラム(案)】

司会 : 及川 恵美子  
(厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室国際分類分析官)

12:00 開 場

13:00～13:10 開会挨拶  
安藤 よし子 (厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当))  
中村 耕三 (社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会委員長)

13:10～13:50 ICFの活用と期待  
中村 春基 (一般社団法人 日本作業療法士協会会長)

13:50～14:30 医療・介護連携、セルフマネジメントへの活用  
筒井 孝子 (兵庫県立大学大学院 経営研究科教授)

14:30～14:45 休 憩

### パネルディスカッション(具体的活用事例の報告)

(座長 : 中村 春基 (一般社団法人 日本作業療法士協会会長)  
筒井 孝子 (兵庫県立大学大学院 経営研究科教授)

14:45～16:45 (各20分の講演) + (40分のディスカッション)

#### 小児領域での活用

橋本 圭司 (独立行政法人 国立成育医療研究センター)

#### リハビリ領域でのICFに基づく全般評価システムの作成と臨床活用

園田 茂 (藤田保健衛生大学 医学部リハビリテーションⅡ講座教授)

#### ICFを活用し認知症者の生活機能障害を捉える

村井 千賀 (石川県立高松病院主幹作業療法士、元厚生労働省老健局課長補佐)

#### 地域包括ケアへの期待

石川 広巳 (公益社団法人 日本医師会常任理事)

16:45～16:55 質疑応答

16:55 閉会挨拶  
森 桂 (厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室長)